

# はちのへ 市議会だより

平成22年3月定例会

No. 69

2010年（平成22年）4月20日発行

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号 ☎ 43-2111 内線404

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>



## 白山台公民館 開館

4月2日、八戸市立白山台公民館開館式が行われました。



山口広道 議長

今定例会では、議長の辞任に伴い、選挙を行った結果、第34代議長に山口広道氏が就任しました。



集会ホール室

平成22年3月定例会は、2月23日から3月18日まで、24日間の会期で開かれ、平成22年度一般・特別・企業の各会計当初予算など市長提出議案72件、議員提出議案3件を可決して閉会しました。

## 平成21年度3月補正予算

一般会計補正予算額 101億189万4千円 補正後の予算総額 1,017億3,257万8千円

- 主なもの
- 是川縄文の里整備基金積立金……………3,043千円
  - 市民病院事業会計負担金等……………887,317千円
  - 最終処分場施設整備事業費……………25,000千円
  - 立地奨励金補助金……………59,483千円
  - 学校施設耐震化経費……………6,396,122千円

## 市政に対する 一般質問

財政、福祉行政、教育行政など、218項目の質問の中から質問議員1人につき1項目を取り上げ、要旨を掲載しました。  
なお、今定例会では、会派を代表して質問する代表質問がありました。

### 総合保健センターでの保健事業の内容と専用施設で事業を行うメリットは

自由民主クラブ代表

秋山 恭寛

【問い】 田向地区に建設が予定されている総合保健センターで、実施が考えられる保健事業の内容と、専用の施設で事業を実施するメリットについて伺いたい。

【答え】 同センターの保健事業の実施内容については、現在、予防接種や幼児健診、妊婦・乳児から高齢者までを対象とした、各種健康相談や健康教室などを想定している。

また、専用の施設で事業を実施

するメリットとしては、プライバシーに配慮した相談室の確保により、相談者が気兼ねなくゆつくりと安心して相談できることなどが挙げられ、さらには、健康づくりの拠点として認知されていくことにより、各種事業への参加者や健康づくりに取り組む市民の増加にもつながるものと考えている。

### 戸別所得補償制度の概要は

民主クラブ代表

田名部 和義

【問い】 水田農業の経営安定や食料自給率の向上のため、国が来年度から行う戸別所得補償制度モデル対策の概要について伺いたい。

【答え】 国では、来年度から戸別所得補償制度モデル対策として、二事業を実施することとしている。一つ目は、米戸別所得補償モデル事業で、標準的な生産費用と販売価格の差額を補てんし、主食用米の作付面積一〇a当たり一万五千円を交付することなどを内容とし、二つ目は、水田利活用自給力向上事業で、飼料用米や大豆など作付けする作物により、一〇a当たり八万円から一万円を交付することなどを内容としている。

現在、受付事務の体制など詳細が明らかになっていない事項が多いため、分り次第、関係機関や各農家に周知・徹底を図っていく。



水田風景

### 新たに設置する

#### 雇用支援対策課の施策は

社民党・市民連合代表

松橋 知

【問い】 来年度に設置する雇用支援対策課および無料職業紹介所の具体的な施策について伺いたい。

【答え】 市では、厳しい雇用状況に対応するため、来年度新たに雇用支援対策課を設置し、積極的

具体的な施策としては、市が誘致した企業への求職者の紹介などを実施するため、来年度中に無料職業紹介所を開設し、専任職員による就労などに関する相談への対応や、ホームページを活用して求人情報などを積極的に発信し、求職者への支援を実施していきたい。

また、若年未就職者などを対象としたセミナーの開催や、雇用創出戦略ビジョンを策定し、これらの新たな雇用対策について、広報はちのへなどで周知を図り、取り組んでいきたい。

### 国の公共事業費の大幅削減による影響は

公明党代表

前澤 時廣

【問い】 建設業界や雇用問題を含めて、国の公共事業費の大幅な削減による影響について伺いたい。

【答え】 建設業は、地域経済や雇用の場を支える重要な役割を担っている産業であることから、国の公共事業費の大幅な削減は、建設業界のみならず、雇用面においても大きな影響を与えるものと憂慮しており、企業の経営安定と雇用の確保が喫緊の課題であると考

えている。

このため、中小企業特別保証制度の融資枠の拡充など、各種制度の充実を図るとともに、無料職業紹介所の開設など、新たな雇用対策を推進していきたい。

また、今後も、公共事業費の確保について、国・県などに強く要望していきたい。

### 消防団員の

#### 報酬と出動手当の現状は

日本共産党議員団代表

畑中 哲雄

【問い】 市消防団員の報酬額および出動手当額は、地方交付税の算定に用いる単価との差が大きいようだが、現状について伺いたい。

【答え】 消防団員に支給される年額報酬などは、市の条例で定めており、年額報酬は、団長七万二千元、副団長五万四千元、分団長二万八千元などで、その他手当などは、出場手当、警戒手当、訓練手当がそれぞれ一回当たり千五百円、年二回支給の賄手当が五百円、ポンプ車配備分団の機関員手当が年額七万円となっている。

一方、本年度の地方交付税の單位費用は、団長八万二千五百円、

副団長六万九千円、分団長五万五  
百円などで、出勤手当などは、一  
回当たり七千円とされており、当  
市の支給額は、地方交付税の単位  
費用より下回っているが、地方交  
付税自体が一般財源であることや  
財政事情を考慮し定めている。

### 〔仮称〕八戸西インターチェンジ 設置に向けた取り組み状況は

自由民主クラブ  
工藤 悠平

〔問い〕 〔仮称〕八戸西インタ  
ーチェンジ（ＩＣ）の設置は、八  
戸駅周辺地区への機能集約促進や  
観光地へのアクセス向上を図るた  
め重要であるが、現在の取り組み  
状況について伺いたい。

〔答え〕 市では、〔仮称〕八戸  
西ＩＣの設置について、関係機関  
への要望や国・県との勉強会開催  
など、積極的な活動を行ってきた。

昨年度、国土交通省が、今後十  
年間でスマートＩＣを全国に二百  
カ所程度、新設する計画を打ち出  
しているほか、本年六月からの八  
戸自動車道無料化の社会実験に伴  
う利用客の増加も見込まれること  
から、〔仮称〕八戸西ＩＣ実現の  
絶好の機会であると考えられている。

また、東北新幹線の青森開業を  
間近に控え、このＩＣ設置の必要  
性はますます高まってきており、  
今後、近隣市町村と連携を図り  
ながら、早期実現に向けて全力を  
挙げて取り組んでいく。

### 南郷区での館えんぶりへの 支援策は

無所属  
坂本 眞将

〔問い〕 南郷区の館えんぶりに  
ついて、宣伝などの後押しが必要  
であると思うが、今後、支援して  
いく考えは。

〔答え〕 館えんぶりは、島守田



館えんぶり

園空間博物館運営協議会が、農家  
の土間で行われていた同地区のえ  
んぶりの姿を再現することを目的  
として開催しており、今年で四回  
目となるイベントである。

館えんぶりは、南郷区における  
冬季の貴重な観光資源の一つであ  
り、多くの人が関心を持つことに  
よって、地域間の交流が促進され、  
合併した二市村の一体感を醸成し  
ていくものであることから、市で  
も、市ホームページへの掲載や公  
共施設へのチラシ配布などにより、  
効果的なＰＲ支援を行っていく。

### 自殺未遂患者への対応は

無所属  
伊藤 圓子

〔問い〕 市民病院における自殺  
未遂患者の現状と、患者への対応  
について伺いたい。

〔答え〕 昨年の市内の救急概況  
によると、自損行為による搬送人  
数は八十七人で、そのうち七十一  
人が当院に搬送されたが、救急車  
を利用しない軽傷の場合もあり、  
正確な人数は把握できていない。  
当院では、入院した自殺未遂患  
者には、当院の精神科医に紹介す  
るなどの対応を行っているが、退

院後の患者などに、医療以外の部  
分で特別な対応をとるためには、  
関係機関との組織づくりなどが必  
要であり、病院が主体となつて行  
うことは困難であると考えている。

しかし、一部自治体では、自殺  
未遂者などに、自治体と病院が連  
携し、自殺予防に取り組んでいる  
例もあることから、今後、病院と  
して何ができるかを研究していく。

### 大隈重信翁の銅像建立を

民主クラブ  
八嶋 隆

〔問い〕 みなと八戸発展の歩み  
を、改めて再認識・再確認するた  
めに、八戸港整備の端緒となった  
大隈重信翁を顕彰し、昨年の八戸  
港開港七十周年記念として銅像を  
建立する考えは。

〔答え〕 八戸港の整備は、多く  
の先人の先見の明と、なみなみな  
らぬ努力により進められてきたも  
のであり、その結果が現在の八戸  
港の発展、さらには、市の発展に  
つながっていることから、こうし  
た方々の功績を後世に伝えていく  
ことは、非常に重要なことである。  
銅像建立については、八戸港の  
発展に貢献した人物は多数いるこ

とから、大隈重信翁を含めてふさ  
わしい人物や銅像建立の実施主体  
などについて、検証することが必  
要であると考えている。

### 八戸駅前の市道整備を

社民党・市民連合  
大島 一男

〔問い〕 八戸駅前の市道八戸駅  
正法寺線および市道八戸駅前通線  
の整備について、所見を伺いたい。  
また、市道八戸駅前通線から市  
道内舟渡二号線への円滑な通行の  
確保について、所見を伺いたい。

〔答え〕 市道八戸駅正法寺線お  
よび市道八戸駅前通線については、  
財政状況などを勘案すると、現道  
の拡幅整備は難しいと考えている  
が、利便性やグレードアップの観  
点から、既存歩道のバリアフリー  
化やカラー舗装などの整備につい  
ては、今後、検討していきたい。  
市道八戸駅前通線から市道内舟  
渡二号線への円滑な通行の確保に  
ついては、大型水路やフェンスな  
どにより見通しが悪くなっている  
ことから、今後、既存大型水路の  
機能維持や用地買収などについて、  
関係機関との協議・調整を進めな  
がら検討していく。

## 市営住宅の修繕工事の状況は

日本共産党議員団

松田 勝

【問い】 市営住宅の管理が、地元でない建設業者に任せられるようになり、市営住宅の修繕工事から地元業者が締め出されている状況であるが、この修繕工事がどのように行われてきたのか伺いたい。

【答え】 市営住宅の管理は、平成二十年四月から指定管理者制度を導入し、現在は、五戸町に本社を置く(株)東北産業が、指定管理者となっている。

指定管理者が発注した修繕工事の実績については、昨年度は、六百三件、工事費四千八十七万円となっており、本年度は、十二月末現在で五百二件、工事費三千百三十五万円となっている。

また、修繕工事については、そのほとんどが市内の事業者が発注されている。

## 中心商店街の空き店舗を

### 福祉施設に

民主クラブ

田中 満

【問い】 中心商店街の空き店舗

を、居宅介護施設など介護拠点として活用し各種介護サービスを行うことにより、高齢者が住み慣れた地域での生活が継続でき、また、災害時要援護者のよりどころにもなると考えますが、所見を伺いたい。

【答え】 市では、第四期八戸市高齢者福祉計画の中で、来年度に小規模多機能型居宅介護施設を公募することとしている。

具体的な公募要件はこれからとなるが、本年度公募した地域密着型介護老人福祉施設と同様、施設が配置されていない圏域に配置することにより、将来的には、市内十二の日常生活圏域に少なくとも一施設配置したい考えで進めており、今後、どのような方法で公募するか検討していきたい。

## 是川地区における史跡公園および散策コース整備の取り組みは

自由民主クラブ

小屋敷 孝

【問い】 縄文文化を代表する是川遺跡や、是川地区の景観などを生かした史跡公園および新井田川沿いの散策コースの整備について、今後の取り組みを伺いたい。

【答え】 市では、是川遺跡を史

跡公園として整備するための基礎資料となる発掘調査を平成十一年から行っており、その成果をまとめる段階に近づきつつある。

史跡公園としての整備については、発掘調査の結果に基づき、保存管理計画や史跡整備の基本計画を策定しながら、具体化に向け取り組んでいく。

また、散策コースについては、八戸市都市計画マスタープランなどとの整合性を図りながら、是川地区における縄文の里の整備を進めていく中で検討する。

## 市営魚菜小売市場の活用を

民主クラブ

寺地 則行

【問い】 市営魚菜小売市場の二階部分に空きスペースがあるが、観光客の無料休憩所などに活用できないか、所見を伺いたい。

【答え】 同市場では、現在、魚菜類の販売のほかにも一階では食事ができるようなスペースを確保しており、さらに二階では、絵画や書道などを展示し、来場者へのサービスに努めている。

また、施設の付加価値向上と利用者増加を図るため、施設利用

条件の見直しなどについて、来年度から検討することとしている。

二階の空きスペースを観光客などの休憩場所として活用することについては、施設入居者で構成する八戸市魚菜商業協同組合とも管理面での工夫なども含め協議し、対応できるよう検討していく。

## 高齢者見守り支援ネットワークの推進を

社民党・市民連合

山名 文世

【問い】 高齢者の日常生活を地域全体で支える高齢者見守り支援ネットワークの現状と、今後の推進計画について伺いたい。

【答え】 町内会を単位とした高齢者見守りネットワーク協議会は、現在、十八町内に設置されているが、八戸市地域包括支援センターでは、この協議会の設置数を増やすため、広報はちのへに特集記事を掲載したり、直接町内会長への働きかけなどを行ってきた。

今後は、各町内に見守り活動の手引きを配布するほか、新聞や郵便などの配達を行っている事業者などにも見守りの協力を呼びかけ、地域での見守りの輪を広げると

もに、意識向上を図るための普及啓発に努めていきたい。

さらに、PRの方法については、他都市の事例も参考にし、工夫しながら周知していきたい。

## 介護支援ボランティア制度を導入する考えは

公明党

夏坂 修

【問い】 他都市で導入されている介護支援ボランティア制度について、当市でも導入すべきと考えますが、所見を伺いたい。

【答え】 同制度は、高齢者が介護施設などでボランティア活動を行った場合に、活動実績でポイントが得られ、そのたまったポイントに応じて換金されるもので、高齢者がボランティア活動に参加することにより、参加者自身の生きがいづくりや健康の保持増進、ひいては介護予防につながる有効な事業であると考えている。

今後は、平成二十三年度の導入に向けて、ボランティア活動の範囲やポイントの管理方法などについて、他都市の状況などを参考にしながら、当市の実情に合った制度の在り方を検討していきたい。

# 予算特別委員会

平成二十二年度の一般・特別・企業会計の予算は、委員三十四人で構成する予算特別委員会で審査し、全議案とも原案のとおり可決されました。

なお、各党派および無所属議員から予算に対し、総括意見があり、その要旨を掲載しました。

## 自由民主クラブ

賛成

一般会計・各特別会計予算では、景気低迷により税収面で厳しい状況が予想される中、基金繰入額を昨年度より抑制するなど、市長二期目となる予算編成に対し敬意を表する。

要望としては、ウミネコの特徴を生かした市制施行八十周年記念マスコットキャラクターの周知、税収増につながるふるさと納税の周知範囲の拡大、多様な障がいを持つ方が利用しやすい障がい福祉サービスの向上、リサイクルプラザの有効活用と今後の運営方法についての検討、三社大祭の山車製作現場の早期決定、八戸ポータルミュージアム（はっち）利用者が

利用しやすい駐車場対策、災害時における飼養動物の管理対策の周知およびペット同伴訓練の取り入れ、種差海岸における市主導の計画的な間伐、自動販売機設置に対する十分な精査などに取り組むことを要望する。



市制施行80周年記念マスコットキャラクター「いかずぎんズ」

自動車運送事業では、厳しい経営環境の中、経営立て直しを継続

して行っており、今後も、八戸市営バス事業経営健全化計画に伴う経営改善に期待する。

また、依然として利用者の減少や燃料費の高騰など先行きの見えない状態が続いており、新たな政策誘導などで利用率を高め、市民特に交通弱者の足を確保しながら、一層の経営改善を要望する。

市民病院事業では、広域の中核

病院として救急救命医療、地域完結型医療などに鋭意努力していることを高く評価するとともに、ドクターヘリの運用は、医療資源の地域偏在などにより、今後ますます必要になると思われることから、

まもなく運行開始となるドクターカーとともに、地域の安心のため医療体制の強化を期待する。

また、八戸市立市民病院改革プランに沿って厳しい経営改善に取り組んでいるが、さらなる創意工夫により、経営改善することを要望する。

## 民主クラブ

賛成

一般会計・各特別会計予算では、

扶助費を含む義務的経費が歳出全体の約五割を占めるなど、財政を硬直化させており、さらに、ハサップ対応型魚市場、八戸ポータルミュージアム（はっち）、（仮称）是川縄文館の三施設の運営費などが見込まれるとともに、新処分施設の建設が予定されていることから、今後も、慎重な財政運営が必要である。

一方、安全・安心の課題を中心に、多様化・高度化する市民のニーズにどう応えていくのか、市民との協働の本質が問われている。

要望としては、機構改革による業務効率の向上、電子入札の早期導入、東京事務所の家賃および業務内容についての検証、市民保養所における地場産品の活用、仲良しクラブとの連携による保育環境の向上、生活保護に関するケース

ワーカーなどの拡充、新処分施設建設における優先的な地元業者の選定および適正価格での発注、消防団員の充足率向上に向けた取り組み、長者まつりめぐり広場のスケートボード場のような若者が楽しめる環境づくり、南郷名画座事業の見直しを含めたさらなる文化振興策、地域密着型教育推進事業における学校支援のコーディネート

ーに対する予算面の配慮などを要望する。

自動車運送事業では、交通手段の多様化などを背景に厳しい経営環境にあるが、八戸市営バス事業経営健全化計画を推進するとともに、今後、八戸圏域定住自立圏の形成を目指す中、地域公共交通の再生に向けた方向性を見いだすよう期待する。

市民病院事業では、医療過疎が進む中、ドクターヘリの運用により、県内および県域を越えた周辺地域の救命率向上に大きく貢献をしていることに敬意を表する。

今後も、救急医療のさらなる充実と医療の質向上および患者サービスの充実を図るよう要望する。

## 社民党・市民連合

一般会計予算に反対、他の議案に賛成

本予算は、市長一期目の実績とマニフェストを検証した上で構築した施策が計上されており、実現への決意が表れている。

一般会計予算では、社会的弱者への責任を持ち続けることが福祉

行政の第一であることから、うみねこ学園・いちい寮民営化支援補助金についてのみ反対である。

その他は賛成であり、要望として、組織再編による行政の活性化、職員の適正確保と育成強化、情報開示における問題解消、I T E R（国際熱核融合実験炉）の情報収集、市民保養所の利用拡大、放課後児童クラブの運営改善、不法投棄対策、雇用全般にわたる施策の推進、中心市街地の駐車場の改善、文化財の保存振興対策、河川管理の推進、八戸ポータルミュージアム（はっち）の目標達成、福祉施設における消防訓練および消防設備の設置義務の検証強化、南郷文化ホールの運営改善、指定管理者制度移行後の事業効果の検証、学校図書購入費の適正化など、予算執行に当たっての取り組み強化を求める。

したことに敬意を表する。  
市民病院事業では、崇高な理念で事業運営していることに敬意を表する。

また、定住自立圏構想に基づき、他自治体病院との医療連携強化に取り組み市民病院に対し、総務副大臣が医療サービスの拡充を最優先に、各自治体の意見を聞きながら政策を進めたいなどと述べたことから、国の施策への期待を大にするとともに、県の配慮にも期待したい。

## 公明党

### 賛成

一般会計・各特別会計予算では、第五次八戸市行財政改革大綱に基づき、徹底した行財政改革の推進を図り、マネIFESTの政策断行に強い姿勢を示していることを高く評価する。

地域経済の活性化については、八戸港への液化天然ガス（L N G）輸入基地の立地により、地元業者の優先活用、雇用確保に努めるとともに、新設する雇用支援対策課を起点とした雇用支援・中小

企業支援策についても、多角的な手だてを講じるよう要望する。

中心市街地活性化については、八戸ポータルミュージアム（はっち）が市民および観光客にとっての憩いの場や新たな八戸の魅力発見の場となるよう、また、空き店舗の解消など、粉骨碎身の取り組みを要望する。

医療・福祉行政については、子ども医療費の一部無料化やヒブ・肺炎球菌ワクチン接種費用の助成について高く評価するとともに、女性特有のがん検診無料クーポンによる検診事業の継続を要望する。

また、子育て支援として、障がい児保育のさらなる充実や放課後児童クラブの拡充、子ども手当支給対象者への周知徹底などに、柔軟かつきめ細かい対応を要望する。教育行政については、学校施設の耐震化を、即効性と確実性を重視して進めるよう要望する。

自動車運送事業では、職員配置の適正化や営業所の統廃合に取り組みとともに、南部バス（株）との共同運行や運賃制度の見直しなど、経営改善と利用者増加への努力を重ねていることに敬意を表し、今後、さらなる経営改善と利便性向上に努めるよう要望する。



ドクターカー

に対する対策が極めて不十分である。中小企業が仕事を確保するための支援策としては、耐震診断や耐震補強への支援も効果があるものと考えられる。

生活道路の補修などについては、要望が多いことから、思い切った予算の組み替えを求める。

農業振興については、地元農産物の消費拡大のため、学校給食での利用拡大を図るべきである。

また、林業への支援により、市場産品の活用を図ることは、新たな産業を育成することや、CO<sub>2</sub>削減の取り組みにもつながる。

新エネルギーについては、取り組みの拡大が新たな産業の育成と雇用の拡大に役立つものと考えられる。市職員の体制については、職員を減らし続けることは過重労働につながり、中でも、ケースワーカーなどの増員は急務である。

消防団員の手当てについては、地方交付税の算定基準に満たないことから、見直すべきである。

国民健康保険および介護保険特別会計、さらに、児童生徒への就学援助については、他自治体とも連携しながら、国に負担割合を増やすよう意見すべきである。

自動車運送事業では、効率的な

## 日本共産党議員団

### 一般会計予算に反対、他の議案に賛成

一般会計予算では、ヒブ・肺炎球菌ワクチン接種費用の補助や小中学生の医療費の一部無料化など、一定の評価をできる施策もあるが、全体では地域の経済危機に

ダイヤ編成やバスロケーションシステムの導入などで、市民サービスの向上と利用者の増加を目指しているが、依然厳しい経営状況が続いていることから、市民の足を守るため、一層の努力を要望する。

市民病院事業では、病院建設の初期投資が経営改善に影響している中であって、ドクターヘリの有効活用も含め、救急医療でも大きな役割を發揮している。

高度な特殊医療を行う県南の中核病院として、住民への安全・安心の医療のため、医師や看護師、職員にさらなる努力を期待する。

## 無所属

### 賛成

一般会計・各特別会計予算では、負担金・補助金の削減による財政効果は評価する一方、各団体の事業内容の評価・精査には細心を込めて対処することを望むとともに、第五次八戸市行財政改革大綱の量的改革から質的改革への取り組みに期待する。

また、協働のまちづくりの基盤となる住民参加に重きを置いたこ

とを評価する。経済・雇用対策については、新設する雇用支援対策課の雇用創出戦略ビジョン策定などの取り組みに大いに期待する。

八戸ポータルミュージアム（はつち）については、巨額な維持管理費が毎年必要になることを肝に銘じ、中心市街地活性化という目的に寄与することを要望する。

教育行政については、全校に拡大する地域密着型教育に期待するとともに、学校適正配置の慎重な検討や、学校給食への地場産品の積極的な導入などを要望する。

自動車運送事業では、路線ナンバリングシステムの導入、環境や福祉に配慮した車輛の導入などの取り組みに敬意を表するとともに、今後、八戸市営バス事業経営健全化計画を順調に進め、この目標を達成することを望む。

市民病院事業では、県南地域の中核病院として、地域医療連携の牽引役を努めてきたことに敬意を表する。

今後も、厳しい病院経営の中で、八戸市立市民病院改革プランに沿った経営改善を図ることを願うとともに、総合診療科の早期設置、緩和ケア病棟の拡充、外来予約シ

ステムの早期改善などを要望する。

## 無所属

### 賛成

一般会計・各特別会計予算では、市長のコンクリートも人も人という思いのもと、マニフェストに掲げた事業を盛り込んだ予算となったことを評価する。

このコンクリートであるハード面において、知恵を絞って事業を進めることは、活やかにぎわいの創出につながり、さらにそのことは人にも波及するものと考ええる。

また、人についても、雇用創出や医療・子育て支援事業に取り組んでおり、その成果に期待する。

行財政改革については、第五次八戸市行財政改革大綱に基づき、新たな視点での行政効率や市民サービスの向上などを積極的に推進し、市民が充実感を感じる八戸づくりに取り組むよう要望する。

自動車運送事業では、少子高齢化など公共交通を取り巻く環境は厳しいが、八戸市営バス事業経営健全化計画の下に経営健全化を図りながら、働きがいのある職場環

境を整えて職員のモラル向上を図り、利用者や市民から慕われるバス事業となるよう要望する。

市民病院事業では、県南地域の中核病院として、また、周辺町村との八戸圏域定住自立圏形成協定においても、市民病院の役割の重要性はますます高まっている。

病院事業を取り巻く経営環境などは厳しい状況にあるが、策定後二年目となる八戸市立市民病院改革プランの実効性が高まっています。新たな発想で病院経営を進め、全国でも著名な病院になるような運営を期待する。

## 人事

○八戸市固定資産評価審査委員会の委員に次の方を選任することに同意しました。

源新 明氏

○八戸市固定資産評価員に次の方を選任することに同意しました。

佐藤 浩志氏

○人権擁護委員の候補者に次の方を推薦することに同意しました。

田端 常雄氏  
松橋 雅郎氏

## 意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係省庁および県へ提出しました。

▽リンゴの価格安定対策を求める意見書

## 議員提出議案

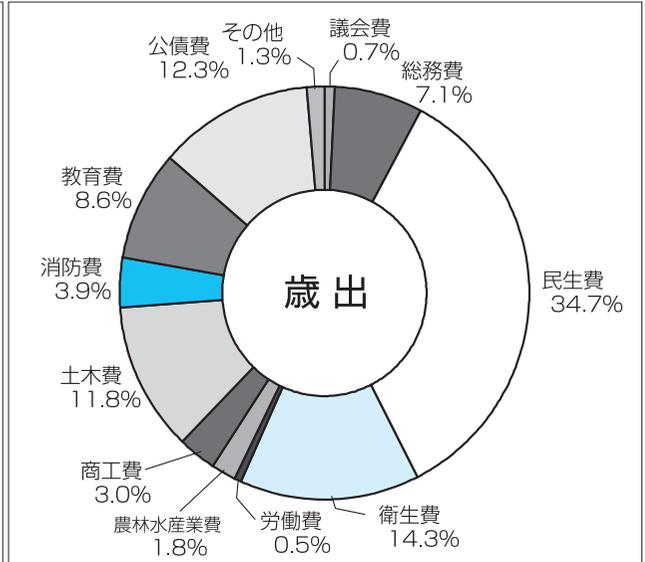
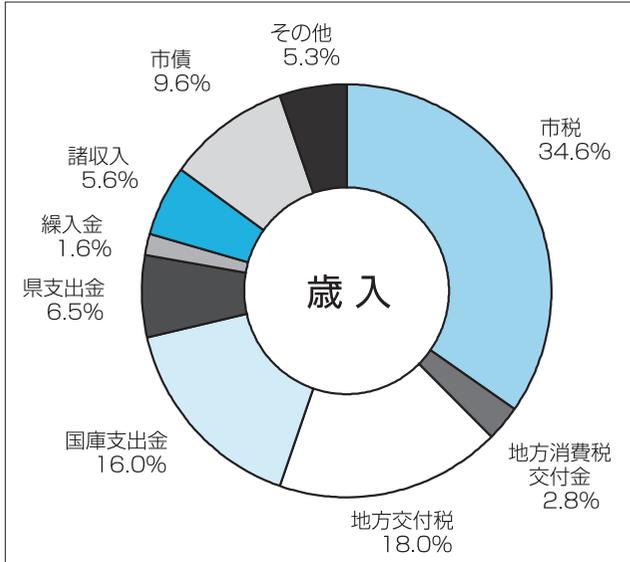
議員提出議案として、次の1件を可決しました。

○八戸市議会委員会条例の一部を改正する条例

# 平成22年度当初予算の概要

## 一般会計

817億3,000万円



## 特別会計

(15会計総額) 586億6,120万1千円

## 企業会計

	収益的収入	収益的支出
自動車運送事業会計	16億4,026万8千円	16億5,055万2千円
市民病院事業会計	130億5,692万7千円	143億566万2千円

## 新たな条例

主なもの

▽八戸ポータルミュージアム条例

中心市街地ににぎわいを創出し、もって八戸市全体の活性化を図るため、市民交流、文化創造および観光の拠点としてポータルミュージアムを設置し、その使用料などを定め、管理することを目的としています。

▽八戸市グリーンニューデイル基金の設置及び管理に関する条例

地方自治法第241条の規定に基づき、グリーンニューデイル基金の設置および管理に関し必要な事項を定めることを目的としています。

## 市議会を

### 傍聴しましょう

本会議、常任・特別委員会、常任委員会協議会および議員全員協議会は、どなたでも傍聴することができます。

また、車いすの方は、市庁本館三階議会で、本会議のテレビ視聴ができます。

三月定例会では、六十五人の傍聴者がありました。

次期定例会は六月に開催します。

なお、三月定例会の会議録は、六月に発行する予定です。

## 平成二十一年の議会活動

★議案の審議件数

市長提出議案 152件  
議員提出議案 11件

★会議の開催状況(延べ日数)

会期日数 74日  
本会議日数 23日  
議会運営委員会日数 31日  
常任委員会日数(協議会含む) 30日

総務 30日  
経済 23日  
民生 29日  
建設 26日  
特別委員会日数 2日

環境先進都市推進 2日  
中心市街地活性化推進 2日  
観光開発 6日  
港湾振興対策 5日  
広域連携推進 4日  
都市基盤整備推進 4日  
予算・決算 10日

★請願・陳情の審査件数

請願 5件  
陳情 9件

処理状況

採択 2件  
陳情 2件

不採択 3件  
陳情 3件

継続審査 3件  
請願 4件

取り下げ 0件  
陳情 0件